

令和3年8月24日

保護者の皆様

愛媛県立今治特別支援学校長 丹下 徳子

新型コロナウイルス感染防止対策の強化について（お願い）

新型コロナウイルス感染については、感染力の強いデルタ株の影響により若い世代への感染が拡大する状況が続いており、愛媛県では8月11日から警戒レベルが「感染対策期」に引き上げられました。また、8月20日からは「まん延防止等重点措置」が適用されています。

このような状況のもと第二学期を迎えることとなりますので、各御家庭ではすでに十分感染防止の対応をいただいておりますが、以下の点を中心に、各御家庭での感染防止と対策の強化をお願いします。

記

1 水際対策について

- 家族で感染回避行動の在り方を話し合うとともに、一人一人の日々の健康観察を徹底する。
- お子様に少しでも体調不良が認められる場合は、必ず登校を見合わせ、医療機関に相談する。

2 マスクの着用について（お子様の状況に応じて御対応ください）

- マスクは適切に着用する。
- 布マスクやウレタンマスクに比べ、不織布マスクの方が飛沫の拡散や吸い込みを抑える効果が高いというデータもあることから、素材についても留意する。

【参考】

マスクの素材別の飛沫の拡散等についての実験結果を見ると、布やウレタン製のマスクに比べ、不織布製の方が飛沫の拡散を抑える効果が高いということが分かっています。マスクの性能はマスクの圧が大きいほどよく、性能の良いものは密閉性が高くなるからです。一方で、密閉性が高いマスクは、息苦しさを覚えることもあり、低学年の児童や体調如何で着用が難しい場合もあります。

【素材性能の評価】

マスクの素材	吐き出し飛沫量	吸い込み飛沫量	特徴
不織布製	20%	30%	性能は高いが通気性が悪い
布製	18～34%	55～65%	通気性が良く性能も比較的良い
ウレタン製	50%	60～70%	性能は劣るがおしゃれ

(国立大学法人豊橋技術科学大学と理化学研究所によるスーパーコンピュータ「富岳」を使用したシミュレーション結果より)マスク非着用時との比較